

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
HP: <https://tsubusa.com/>

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第 90 号 令和 7 年 10 月
発行: 津房地区まちづくり協議会
事務局: 津房地区公民館内
電話: 48-2001

小規模集落応援事業実施〈今期第2回目〉

10月18日の午前、戦没者慰霊共同墓地の草刈りと墓誌周りの清掃作業を行いました。

遺族会と応援隊から成る14人で2時間近く作業し、英霊を祀る施設に相応しい状況に仕上がりました。

なお、今回は墓誌を兼ねた墓132基を高圧水洗浄してきれいにしようと、機材を揃えて臨んだものの、発電機的能力不足が原因と思われる動作不調のため実現できず、残念ながら次回持ち越しとなりました。



清々しい気分で集合写真

定例の秋の全国交通安全運動に関する当地区の取り組みとして、10日間の期間中の土日祝日を除く6日間に限り、津房小学校児童の登校時間、一般者の出勤時間帯でもある午前7時半～8時の間、いつもの六郎丸交差点で児童の見守りと通行車両への安全運転の啓発・呼びかけをしました。

地区の交通安全協会、女性ドライバー安全会、当協議会あんしん生活部会員の各団体所属員から成る延べ45人が輪番で出役いただき、また、津房小学校の巨部校長と高倉駐在さんも連日加わっての街頭呼びかけで、走り抜ける運転者に対する安全運転の意識喚起の効果があった筈です。

出役協力頂いた各位へ本稿で御礼申し上げます。



植杉交通安全協会分会長のサポートで横断

秋の交通安全運動を展開



丸田の棚田だより (10月)

☆☆☆ 稲刈りイベント ☆☆☆

前号でご紹介した棚田の稲、その後も台風や荒天に遭うこともなく順調に実り、収穫を迎えました。

休耕田となっていた棚田の再生事業で最初の稲刈りを迎えるに当たり、地区内外の方にも作業を手伝ってもらふこと、そして、あわよくば収穫米の一部を買ってもらえれば、との趣旨で呼びかけをしたところ、大分、別府の両市や国東などの遠方の方々を含め30人ほどから応募いただき、10月13日に小規模な「稲刈りイベント」を開催しました。

応募者と当協議会の再生委員会メンバー11名の

合同で、手刈りとバインダーを併用しての稲刈りと、掛け干しの両作業に当たり、午後3時過ぎに終わることが出来ました。

下を流れる津房川の河川敷での昼食は、ジビエを含めた豪快なバーベキューと、女性部会有志の調理による新米のおにぎりと豚汁の提供で大盛況でした。

(特にうす塩の効いた新米おにぎりは)



☆☆☆ これからの作業 ☆☆☆

掛け干しが乾く10月28日、ひと昔前に活躍した「ハーベスタ」を使って脱穀し、ライスセンターに持ち込んで粳すりを行います。

捕らぬ狸の皮算用ながら、収穫米は

「津房のめぐみ」(サブネーム: 棚田の掛け干し米)のブランドで3kg/袋単位で販売予定です。

地区公民館主催の

「茶飲み会」

ご家庭の不用日用品や食べきれない野菜などを持ち寄り、格安で販売したり、物々交換で交流しましょう!

出品なしでお茶を楽しみに来られる方も大歓迎!

日時: 11月15日(土)

午後1:00～4:00

場所: 津房地区公民館

おひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯へ「元氣の出るお弁当」をお届けします。

来る11月16日(日)の夕食用として午後5時ごろ区長さん経由でお届けします。

【お配りする対象は】

- 概ね75才以上のおひとり世帯
- 概ね80才以上の高齢者のみ世帯
- 集落区分をなくし全集落です。

* 該当世帯の方、当日の夕食は作らないようご注意ください。

高齢者世帯へ夕食のお弁当をお届けします
* 今回も全集落が対象です *

ご寄付のお知らせ

えつしショップさんより
津房ふれあい大運動会に際し、志として金一封を頂戴いたしました。
当協議会の活動費として活用させて頂きます。

津房ふれあい大運動会開催しました!

地区最大のイベントである「津房ふれあい大運動会」、予定どおり10月11日(日)に開催されました。

全校で23人の児童諸君は練習を重ねてきた成果を存分に発揮、特に紅白に分かれての対抗戦では「シラシンケン」の勝負を演じ、保護者、一般地区民からは応援の拍手続きでした。

得点の結果発表では、紅組と白組の得点差「1点」という減多にない僅差で、負け組の悔しがるシーンが印象的でした。

一方、中央・南・西・北部の4地区に分かれてのおとなの対抗戦も例年以上に盛り上がり、地区の絆を深める効果がありました。

4種目の得点競技の結果、近年「やたら元気な」西部地区が昨年に続く優勝で、津房小の児童の殆どが西部地区から登校という現状と符合し、納得です。

当協議会は、恒例となった地区民の競技「防災訓練」のスポンサー役と、誰もが楽しめる《もちまきイベント提供》の役割を担いました。

モチマキ用の紅白モチは、例年どおり当協議会役員有志と女性ボランティア有志からなる17人で、昨年の津房小児童への食育支援事業で収穫した90kgの米を使って手作りしたものです。



⇒公民館で餅つきするオイサンたち
何といてもモチマキが楽しい!

⇒地区対抗玉入れ

